

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	中国語運用演習		
英文授業科目名	Intermediate Practical Chinese		
開講年度	2004年度	開講年次	2年次
開講学期	4学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	姚 毅（学内連絡教官 湯川 敬弘）		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
語彙量・読解力・会話形成力を養成する。特定の場面や限定的な範囲でのコミュニケーションができるように。実用中国語技能検定試験の準4級か4級に合格できる力をつける。

【前もって履修しておくべき科目】
中国語第一・中国語第二

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
中国語第一・中国語第二

【教科書等】
1回目の授業で指定する。

【授業内容とその進め方】
読み書き・会話をさらに強化し、やや長い文章を読みながらより難しい文の構造や表現を学んでいきます。基本文型を中心に、場面を想定し繰り返し練習する。 なるべく小道具などを使って中国に対する認識や親しみを深める。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

期末試験に平常点(出席時数及び授業に取り組む態度)を加味して評価する。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、電話などで事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

「単位が取りやすい」などを選択理由とするのではなく、「中国(語)に興味関心がある」、「将来中国と関連ある仕事をしたい」など意欲的理由で中国語の勉強に臨んで欲しい!先生も諸君のこういう意欲と興味を引き出そうと努めたい。中国語圏に属する十数億の人々が諸君とのコミュニケーションを楽しみにしています!中国語圏に属する国と地域とのビジネスが諸君を待っています!

【その他】